

第 8001872 号

平成 20 年 3 月 14 日

石川県加賀市山中温泉長谷田町口 360

漆芸 よした華正工房 殿

厚生省環第 554 号 昭和 54 年 9 月 21 日

厚生労働大臣登録食品検査機関

財団法人 石川県予防医学協会



検 査 結 果 書

平成 20 年 3 月 5 日提出の試料についての検査の結果は別紙のとおりです。

(事務 担当)

四津 陽子

(TEL : 076-269-2344)



依頼者住所	石川県加賀市山中温泉長谷田町口 360
依頼者氏名・名称	漆芸 よした華正工房
依頼年月日	平成20年 3月 5日
検査品名	うるしけんこう椀
検査項目	抗菌試験
1. 検査目的 うるしけんこう椀について、その抗菌性を検討する。	
2. 検査対象 うるしけんこう椀	
3. 検査方法 JIS Z 2801 抗菌加工製品—抗菌性試験方法による。	
●試験概要 抗菌加工試験片及び無加工試験片に同量の菌を接種して被覆フィルムで覆い、24 時間後の菌数を比較する。 評価は抗菌活性値(R)として表す。 無加工試験片の接種直後の菌数を A、無加工試験片の 24 時間後の菌数を B、抗菌加工試験片の 24 時間後の菌数を C としたとき $\text{抗菌活性値(R)} = \log(B/A) - \log(C/A) = \log(B/C)$ 抗菌活性値(R)が 2.0 以上をもって抗菌効果有り と判定する。	
●試験準備 抗菌加工試験片 5 cm 角にカットしたうるしけんこう椀 無加工試験片 強化ポリエチレンフィルム 被覆フィルム 強化ポリエチレンフィルム	
●試験に用いた細菌 1) <i>E.coli</i> 2) <i>S.aureus</i>	
試験結果が妥当であると判断するためには以下の条件をすべて満たさなければならない。 ①無加工試験片の接種直後の菌数対数値の最大値を Lmax、菌数対数値の最小値を Lmin、菌数対数値の平均値を Lmean としたとき、 $(L_{\max} - L_{\min}) / (L_{\text{mean}}) \leq 0.2$ であること。 ②B の 3 個すべての値が 1.0×10^4 以上であること。	
検査機関	財団法人 石川県予防医学協会
検査年月日	平成20年 3月 1日 ~ 平成20年 3月14日
検査責任者	土井 重樹

検査結果書

第 8001872-02 号

依頼者住所	石川県加賀市山中温泉長谷田町口 360
依頼者氏名・名称	漆芸 よした華正工房
依頼年月日	平成20年 3月 5日
検査品名	うるしけんこう椀
検査項目	抗菌試験

4. 検査結果

(1) うるしけんこう椀

① *E. Coli*

表.1 *E. Coli* 菌数推移

	接種直後		24 時間後	
無加工試験片	3.5×10 ⁵	3.4×10 ⁵	8.3×10 ⁴	7.9×10 ⁶
	3.6×10 ⁵		1.2×10 ⁷	
	3.2×10 ⁵		1.1×10 ⁷	
抗菌加工試験片			10 未満	10 未満
			10 未満	
			10 未満	

●試験成立条件

上記の結果より、 $L_{\max}=5.56$ 、 $L_{\min}=5.51$ 、 $L_{\text{mean}}=5.54$

試験が成立するためには $(L_{\max}-L_{\min})/(L_{\text{mean}}) \leq 0.2$ が成立する必要がある。

$(L_{\max}-L_{\min})/(L_{\text{mean}})$

$= (5.56 - 5.51) / 5.54$

$= 0.01 \leq 0.2$ 上記試験は、成立条件を満たす。

●抗菌活性値 (R)

表.1 の結果より $B=7900000$ 、 $C=10$

抗菌活性値 $(R) = \log(B/A) - \log(C/A) = \log(B/C)$

$= \log(7900000 / 10)$

$= 5.9 \geq 2.0$

以上より、うるしけんこう椀は *E.coli* に対し抗菌効果を有すると判断される。

検査機関	財団法人 石川県予防医学協会
検査年月日	平成20年 3月 5日 ~ 平成20年 3月14日
検査責任者	土井 重樹

検査結果書

第 8001872-03 号

依頼者住所	石川県加賀市山中温泉長谷田町口 360
依頼者氏名・名称	漆芸 よした華正工房
依頼年月日	平成20年 3月 5日
検査品名	うるしけんこう椀
検査項目	抗菌試験

(1) うるしけんこう椀

② *S.aureus*

表.2 *S.aureus* 菌数推移

	接種直後		24 時間後	
無加工試験片	6.7×10 ⁵	6.3×10 ⁵	1.3×10 ⁴	1.3×10 ⁴
	7.2×10 ⁵		1.3×10 ⁴	
	5.0×10 ⁵		1.1×10 ⁴	
抗菌加工試験片			10 未満	10 未満
			10 未満	
			10 未満	

●試験成立条件

上記の結果より、 $L_{\max}=5.76$ 、 $L_{\min}=5.56$ 、 $L_{\text{mean}}=5.66$

試験が成立するためには $(L_{\max}-L_{\min})/(L_{\text{mean}}) \leq 0.2$ が成立する必要がある。

$(L_{\max}-L_{\min})/(L_{\text{mean}})$

$= (5.86 - 5.70) / 5.79$

$= 0.03 \leq 0.2$ 上記試験は、成立条件を満たす。

●抗菌活性値 (R)

表.2 の結果より $B=13000$ 、 $C=10$

抗菌活性値 $(R)=\log(B/A)-\log(C/A)=\log(B/C)$

$=\log(13000/10)$

$= 3.1 \geq 2.0$

以上より、うるしけんこう椀は *S.aureus* に対し抗菌効果を有すると判断される。



検査機関	財団法人 石川県予防医学協会
検査年月日	平成20年 3月 1日 ~ 平成20年 3月14日
検査責任者	土井 重樹